

家畜ふん堆肥の生産と利用

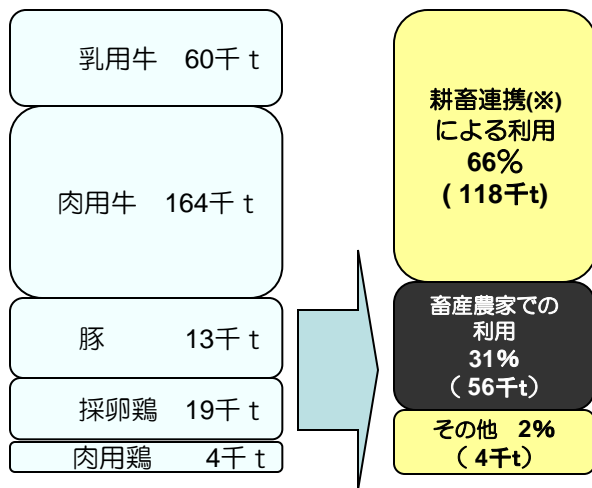
家畜排せつ物については、専用の施設において処理され、そのほとんどが堆肥となります。生産された堆肥については、県内の水稻や野菜・飼料作物などの生産に、有機質資源として利活用されています。

今後も、より良質な堆肥作りの指導や、耕種農家等への利用PRを行うことにより、家畜ふん堆肥の利用促進を図ります。

(1) 家畜ふん堆肥の生産量および堆肥利用量（平成25年度）

家畜ふん尿発生量 261千t

堆肥利用状況179千t



年度	家畜ふん尿発生量 (t/年)	堆肥量 (t/年)	耕畜連携による利用率 (%)
H21	298,000	203,000	64
H22	289,000	197,000	65
H23	281,000	191,000	65
H24	264,000	179,000	67
H25	261,000	178,000	66

(資料: 県畜産課調べ)

※耕畜連携: 畜産農家から耕種農家へ堆肥を供給し、逆に転作田等で飼料作物を生産し、家畜の飼料として供給する等、耕種サイドと畜産サイドの連携を図ること。



専用機械(マニユアスプレッター)による堆肥散布



発酵堆肥化施設